

◇ 開催日時及び開催方法

- ・ 令和5年10月26日（木）午後4時から午後5時40分
- ・ オンライン(ZOOM)開催

◆ 開 会

◆ 議 事

○ 事務局

本日の協議会の進め方についてお諮りします。本会議では座長をおくこととされておりますが、事務局案として、飯田市立病院名誉院長の金子源吾先生をご推薦させていただきたいと存じますがいかがでしょうか。

◎ 一同

異議なし

○ 事務局

では、金子先生に座長をお願いし、以降の進行をお願いしたいと存じます。

◎ 金子座長（飯田市立病院名誉院長）

座長を務めさせていただきます。これまで作業部会を2回開催し、次期長野県がん対策推進計画の素案を検討して参りました。本会議はまとめの段階となりますので、忌憚ないご意見をいただければと思います。

それでは、会議事項に入ります。

1 「本県の医療提供体制の目指すべき方向性（グランドデザイン）」（仮称）素案について

○ 金子座長

会議事項の（1）「本県の医療提供体制の目指すべき方向性（グランドデザイン）」（仮称）素案について
事務局説明をお願いします。

○ 事務局

資料1を説明

◎ 金子座長

ただ今の説明について御意見・御質問ありますでしょうか。

<意見なし>

◎ 金子座長

それでは、最後に発言いただける機会ありますので、お気づきの点ありましたらその際に発言いただくこととし、次の会議事項に移ります。

続いて、次期長野県がん対策推進計画について、事務局説明をお願いします。

(2) 次期長野県がん対策推進計画について

○ 事務局

資料2～6を説明

◎ 金子座長

事務局から説明がありましたが、現在令和6年度からを始期とした次期長野県がん対策推進計画の策定のための検討をしています。

本日お集りの皆様から、次期長野県がん対策推進計画についてご意見をいただきたいと思います。

ご自身の経験をふまえた感想や、今後計画に沿って取り組むうえで期待することといった内容でも構いません。

資料6にありますように、各委員からの御意見もいただいていますし、できる限り反映できるよう事務局で検討したと理解していますが、各委員からご発言いただきたいと考えていますのでよろしくお願いいたします。

がん医療に携わる者から名簿の順にお願いし、最後にがん患者及びその家族又は遺族のご意見として上野委員からご発言いただければと思います。

それでは、田中委員からよろしくお願いいたします。

◎ 田中委員（長野県医師会常務理事）

長野県医師会では、胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん、子宮頸がん検診の精度を上げるために、長野県と協力し精密検査実施医療機関をピックアップして、県民に周知するというのを始めています。この取り組みががん対策に役立てばと考えています。

また、子宮頸がんのHPVワクチンについては、大分進んできてはいますが、予防できるがんということでより啓発していただければと思います。

◎ 金子座長

ありがとうございました。

続いて、増田委員お願いします。

◎ 増田委員（長野県医師会乳がん検診小委員会委員長）

がん検診に携わる者として、作業部会でも発言しましたが、国のがん対策推進基本計画を見ますと、指針に基づかないがん検診を実施している市町村の割合というのは2020年度の時点で81.3%だったという報告があり、検診は根拠のあるものをしっかり進めていきたいと考えています。

受診率や精検受診率、がん発見率などについての細かい内容については、県にがん検診検討委員会という会議もありますので、そこでまとめたいと考えています。

◎ 金子座長

国は根拠のあるものを進めているかと思いますが、指針外のがん検診を行っている市町村も多く、根拠のあるがん検診を進めて欲しいという意見かと思っています。

続いて、大滝委員お願いします。

（機械の不具合により、小泉委員は不具合解決後に発言）

◎ 大滝 祐吉（長野県歯科医師会副会長）

医科歯科連携という部分で、多職種連携について修正案を出しましたが、修正を反映いただけたかと思っています。この計画の対象が県民か、専門家なのかというところを質問したところ県民であるとのことで、専門用語でなく、できる限り分かりやすい表現となっているかと思っています。

また、少し修正いただきたいところもありますが、細かい部分は事務局に相談したいと思います。

言葉が難しく、口腔健康管理という中に口腔機能管理とか、口腔衛生管理とか口腔ケアという言葉が入っております。歯科口腔管理ということで、医科歯科連携の

一番大事な言葉が入っていますが、この言葉が正しいかというところが出てきましてこちらで考えて修正の報告をさせていただきたいと思います。

◎ 金子座長

ありがとうございました。

続いて、萬谷委員お願いします。

◎ 萬谷委員（長野県薬剤師会理事）

現職は緩和ケア病棟ですが、前職ではがん診療連携拠点病院の経験から、緩和ケアチーム、病診連携、薬薬連携、在宅医療の点から資料を拝見し気づいたことを述べさせていただきます。

地域連携薬局や専門医療機関連携薬局が、今新しく保険調剤薬局で看板を掲げることができるようになっていますが、まだまだ少ないので、現状では、がん診療連携拠点病院において、保険調剤薬局薬剤師の研修会が実施されているということを追加してはどうかと思います。

また、作業部会でも意見を述べさせていただきましたが、医療用麻薬小売免許取得数並びにその割合は比較的高く、保険調剤薬局が麻薬を扱っているような現状の数値がありますが、実態は、麻薬年間届けを提出している薬局数が正確な数値だと思います。これにすると現状の数値が低くなってしまいかもしれませんが、まだまだ保険調剤薬局が在宅医療やがん医療に関する関りというのはまだ発展途上であるという現状が表せるのではないかと思います。

また、在宅医療支援薬局数という数字もあり、これも県の中でも多くの薬局が手をあげていますが、現状で表せるのではないかと思います。

そのほか、地域連携の推進の部分（資料5 P26 イ）や在宅における緩和ケア（資料5 P29 ウ）の部分で「求められています」という記載ですが、「求められ、実施しています」という記載ではどうかということと、在宅における緩和ケアの施策の展開（資料5 P30）の「望まれます」という部分を「望まれ、努力しています」としてはどうかというのが意見となります。

◎ 金子座長

ありがとうございました。

続いて、馬島委員お願いします。

◎ 馬島委員（長野県栄養士会会長）

長野県栄養士会では、放射線治療ですとか、がんの化学療法を行っている患者さんが、食事を食べられなくなってしまい、QOLが低下するケースが多々あるかと思

ますが、そのために緩和ケアチームの中に管理栄養士を入れていただきたいという要望をしたところ、反映いただきありがとうございました。

色々な場面でがん患者様の御役に立ちたいと考えています。

◎ 金子座長

ありがとうございました。

続いて、小山委員お願いします。

◎ 小山委員（長野県経営者協会）

医療についての知識がなく素人ですので、一市民の意見ということになるかと思うのですが、2年前に実は他県から転入してきたのですが、転入前には全ての住民に、健康診断の、無料ですとか、一人3千円ですとか、何日から何日までこちらの病院で実施していますといった一覧表と返信用封筒みたいなものが送られてきたのですが、転入してきた際に、社保の任意継続をしていたからかと思うのですが、そういった案内が無く、土地勘が無い中市のホームページ等で調べたのですが、その辺の周知をしていただければ市民としてはありがたいと感じました。

◎ 金子座長

がん検診を含めての健康診断ととらえてよろしいでしょうか。

◎ 小山委員

主にごがん検診になります。

◎ 金子座長

ありがとうございました。

続いて、和田委員お願いします。

◎ 和田委員（日本労働組合総連合会長野県連合会 執行委員）

労働者、労働組合の立場から2点意見申し上げます。

1点目ですが、保険者や事業主の福利厚生の一環として成り立っている任意型検診について、県として経済団体への働きかけを行うことの明記を検討いただきたいというところでは。その情報を基に、労働団体として、労使協議の項目として扱う契機とすることが可能となると考えています。

もう1点ですが、治療と仕事の両立支援について、企業や事業所等に対して、短時間勤務制度等の柔軟な働き方の導入検討を推進する、等の記載を検討できないかという意見となります。

◎ 金子座長

ありがとうございました。

続いて、宮澤委員お願いします。

◎ 宮澤委員（長野県健康づくり事業団放射線業務課長）

がん検診の精度管理につきまして、検診実施機関である当事業団としましては、肺がん検診の精度管理の一つとしまして、読影補助システムを2020年度に導入しております。骨組織透過及び経時差分処理システムというものでありまして、診断精度の向上に努めているところです。実際に陽性反応適中度の向上が認められます。

今後このシステムの効果について分析したいと考えていますし、他の検診についてもこういったシステムを導入したいと検討しています。

◎ 金子座長

ありがとうございました。

続いて、小田切委員お願いします。

◎ 小田切委員（長野県学校保健会事務局）

子どもたちのがん教育について御意見もいただいたところでもありますが、正しい知識とはどういったところかという点ですが、がん教育には大きく2点意味があると思います。

がんを正しく予防したり、早期発見をするための検診をしたりという意味と、がん患者さんと共生していく、学校の中にもがんを患ったお子さんがいたり、御家族の中にがんの経験者がいたり、そういう方々と、自他共に大切にしていくという柱を立てているところです。外部講師の方々も含めて、そういった取組を各学校で充実していけるように推進していきたいと思っています。

◎ 金子座長

ありがとうございました。

続いて、徳永委員お願いします。

◎ 徳永委員（長野労働局健康安全課長）

就労支援の関係で、計画にも記載いただいておりますが「事業場における治療と仕事の両立支援のためのガイドライン」に基づいて国において進めておりますが、な

かなかまだ周知が行き届いておらず、事業場の取組を更に進める必要があると考えているところです。

国としましては、長野産業保健総合支援センターと連携しながら進めているところですが、相談件数もそんなに多くなっていないというところですので、県とも連携しつつ、事業場の意識をしっかりとっていただくというところを進めていただければと思います。

◎ 金子座長

ありがとうございました。

続いて、宮嶋委員をお願いします。

◎ 宮嶋委員（佐藤委員代理）（長野県市長会（飯田市長））

がんによる早すぎる死が問題であると現場の感覚としては持っています。子宮がんや乳がん、大腸がんが他県に比べて死亡率が高い状況が続いていると思いますけれど、子宮がんや乳がんについては若年層の罹患率が高いということが分かるグラフを追加いただくことで普及啓発ができるのではないかと意見を出させていただきました。

もう一つは、がん教育を推進いただきたいという中で、加熱式タバコの有害についてどこかへ記載いただくことで普及啓発できるかなと思います。

受診率向上に向けた取組について、今はポケットティッシュやポスター等の啓発資材を提供いただいているが、若い方や検診を受けたことがない方、がん検診会場に来ている方への普及啓発のために、できれば普及啓発のための動画の提供などを計画に盛り込んでいただき、市町村へ提供いただけると対策がしやすいかなと思います。

◎ 金子座長

ありがとうございました。

続いて、宮島委員をお願いします。

◎ 宮島委員（下平委員代理）（長野県町村会（豊丘村長））

市町村の立場としては、保健・医療・介護の連携ということで、患者さんに対するサービス、生活保障、社会支援の情報提供が必要になってきているかと思えます

ので、関係機関との連携というところで意見を申し上げたところ、反映いただきありがとうございました。

住民への普及啓発という点においては、中学生・高校生への教育というものが大変有効かと思えます。この点については、先ほど小田切委員から発言いただきましたが、中学校、高校への教育に御尽力いただければと思います。

◎ 金子座長

ありがとうございました。

続いて、小泉委員をお願いします。

◎ 小泉委員（長野県がん診療連携協議会がん登録部会長）

資料6に記載いただけていますが、自分なりにこれまで関わってきたことの流れの中でいくつかコメントしましたが、事務局で修正いただいたということかと思えます。

私が関係しているがん登録ですが、全国がん登録は特に市町村が行っているがん検診の精度管理にも行く行く利用可能となっていきます。そういったところに次期がん対策推進計画の期間では関わればと思っています。皆さんが行っているがん検診の精度管理に有効立てていただければと思っています。

◎ 金子座長

ありがとうございました。

上野委員からは後ほどご意見をいただきたいと思いますが、一度区切らせていただきまして、意見いただいた中で、事務局から何か発言ありますでしょうか。

○ 事務局

今いただいた御意見の中で、資料6に既に反映しているものもあり、御確認いただいてさらに御意見ありましたら発言いただければと思います。

事前意見の提出の関係で、萬谷委員の御意見については資料に反映できておりませんが、末尾の書き方、望まれますといった部分ですが、県の施策以外は望まれますという形で検討してきましたが、医療機関で取り組まれていることもありますので、県内部で整理の上、努めている、進めているなどの表現に修正する予定ですので御理解いただければと思います。

医療用麻薬の調剤薬局の関係ですが、作業部会でも御意見いただきましたが、県として考えているのは、計画に記載するところは、実際に麻薬の処方の希望が患者様からあった場合の体制、ストラクチャーを重視しているところもあり、今記載している免許取得の薬局数というところで計画上は進めていきたいと思っております。萬谷委員の問題意識については、担当課の薬事管理課とも共有していますので、施策の中で検討していくということで御理解いただければと思います。

続きまして、和田委員からの御意見についても資料6に反映できていないところですが、今施策の展開のところ、任意型検診に関する部分で、「保険者や事業主等においては、従業員に対するがん検診の実施が望まれます。」と記載しています。理由としましては、もちろんそういったものが進んでいくことが良いという意識は県もありますが、今の制度上、企業に強制的に実施いただくということが難しく、計画に記載できる形としては今の記載かなと思っています。

両立支援についても同じく、企業に行政側から強制はできないため、御理解をいただきつつ進めていくというところで、計画としては今の記載かなと思っています。ただし、いただいた御意見については計画上この記載だとしても、これから進めていく施策の中では検討して実施していかなければいけないと認識していますので、県内部にも労働関係の担当部署もあるため、そういったところと調整しながら、御意見の趣旨に沿えるような施策を進めたいと考えております。

そのほか、事前にいただいた御意見について、例えば飯田市の宮嶋委員の御意見など資料5の本文に反映もしていますので、内容をご覧くださいさらに御意見ありましたら発言いただければと思います。

◎ 金子座長

それでは、次に移らせていただきますけれど、今の事務局の発言について、何かありましたら後ほど発言いただければと思います。

これまでのご発言いただいた委員は、どちらかというとなら計画を策定する側に比重が大きい立場かと思いき、順番を変更してしまいましたが、次に上野委員からの発言をお願いできればと思います。

◎ 上野委員（篠ノ井総合病院 がんサロンあい）

私もがんを患って約16年経っています。そういった経験の中で、がんサロンあいを立ち上げて、コロナ前は定期的開催できました。ただコロナが始まって4年間開催できていません。5類になり、面会等の制限も多少緩和されましたが、早くがんサロンが開催されることを望んでいます。

そういった中で、資料5にピアサポーターという文言がありますが、私も初めて知りましたが、私のがんサロンは色々な病名もあり、16年の経験の中でできるアドバイスをしてきました。篠ノ井総合病院の中では、看護師さんや医師の方も積極的に参加いただいて、色々なアドバイスをいただいています。

このピアサポートの中で、がん診療連携拠点病院等とありますが、枠を広げていただいて、がんサロンがある病院への教育もしていただければと思います。

◎ 金子座長

ありがとうございました。

出席委員皆さんから発言いただきました。今まで発言いただいた中で追加の発言ありましたらいただければと思います。

◎ 田中委員

先ほど和田委員から発言のあった、職域における任意型検診の話題ですが、ここ何十年も本当に悩んでいるところでして、その検診が把握できないという状況が続いているところです。我々で話をしてもダメですし、県と話をしても進んでいかず、国の方針がという中で一向に進んでいません。もしそういったところで、組合側で交渉していただいて、少しでも進めていただければと思います。計画では表現の仕方が難しいところだというのは分かりますが、もう少し踏み込んでいただければありがたいと思っています。

◎ 金子座長

職域検診において、いわゆる生活習慣病はどこもやられているかと思いますが、がん検診は難しいんですかね。その進まない原因あるいは要因はどのあたりにあるのでしょうか。

◎ 事務局

田中委員含め、医師会の先生方からも御意見いただいております。我々も調べながら進めていますが、やはり日本の社会として強制力がないということが全てと思っています。今マイナンバーを活用してデータヘルス計画と言いますか、データを取るという方向性もありますので、その中で、法的にがん検診が義務のような形になり、個人の検診データがマイナンバーで管理できるようになるという方向性を目指しているのではなかろうかというのが、国の資料を読んでいると感ずるところです。

義務がないというところで県でも動けないというところがあります。ですが、そういう検診が進むことは大事だと思っています。本日御意見いただきました連合長野様とも御相談させていただきながら、今できることを進めていければと考えています。

◎ 金子座長

常に課題を考えていかないと、いつまで経っても解決しないものですから、一つはマイナンバーカードを活用し、できる限り定期的に受診いただけるよう、受けていない方に受診していただくという体制整備も大事かと思います。

その他ありますでしょうか。

◎ 事務局

資料6にない意見として、先ほど小山委員から市町村でのがん検診の周知について御意見いただきましたが、基本的にはがん検診は市町村で実施していき、県としましては適切ながん検診を実施いただくよう支援をしていくという立場にありまして、毎年市町村に対してがん検診の担当者会議を開催していますので、そういったところで今日いただいた御意見を含め、こういった形で行政として取り組むべきか進めていきたいと思っています。計画に記載という形ではありませんが、今後の施策の中で反映していきたいと考えています。

◎ 小山委員

ありがとうございました。よろしくお願いします。

◎ 金子座長

その他ありますでしょうか。

全体を通じてでももしご発言ありましたらお願いします。

◎ 馬島委員

資料5の6ページのウに「薬剤師・栄養士」とありますが、「管理栄養士」に直していただきたいと思っていますのでよろしくお願いします。

◎ 金子座長

他にもお気づきの点ありましたら発言願います。

スケジュール的には計画策定までに、本日が最後の御意見をいただく機会になるかと思えます。

よろしいでしょうか。それでは、御意見ないようですので、本日は様々な観点から御意見ありがとうございました。

本日の議論を参考に、より良い次期長野県がん対策推進計画及びがん対策の取組みに反映させていただければと思えます。

以上で議事を閉じたいと思えます。円滑な進行にご協力いただき、ありがとうございました。なお、本日いただいた御意見等をふまえた修正等は、策定までのスケジュールの都合上、私へ一任のうえ対応することとさせていただきたいと考えておりますがよろしいでしょうか。

◎ 一同

<異議なし>

◎ 金子座長

それでは、事務局へお返しします。

○ 事務局

本日はありがとうございました。いただいた御意見をふまえて修正して参りますが、本日提示しました資料6への意見ですとか、他に気づいた点ありましたら一週間内に事務局まで連絡いただければ対応可能ですので、また事務局までメール等でお知らせいただければと思えます。

なお、本協議会について、今年度は次期計画の検討を中心とし、会議の開催については本日のみとさせていただきます。例年は年度末に現行計画の進捗の評価や、県の施策につきまして御意見いただいております。

それらについては、今後とりまとめる予定であり、でき次第書面にてメール等で送付し、別途委員の皆様から御意見をいただきたいと考えておりますので、お手数おかけしますが引き続きご協力願います。

それでは、以上を持ちまして本日の会議を終了いたします。お忙しい中御出席いただきありがとうございました。

(了)